

**基礎医学委員会・総合工学委員会合同
放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会（第24期・第1回） 議事要旨**

日 時：平成30年3月12日（月） 10:00～12:00

会 場：日本学術会議6階 6-A(1)会議室

出 席（6名）：神谷研二、青木茂樹、井上優介、柴田徳思、多湖正夫、中嶋英雄
柳原情子（事務局）

欠 席（7名）：佐治英郎、大倉典子、上坂 充、遠藤啓吾、甲斐倫明、櫻井博儀、竹田敏一

議 題

(1) 役員の選出

柴田徳思委員長、遠藤啓吾副委員長、中嶋英雄幹事、多湖正夫幹事が選出された。

(2) 今期の進め方

柴田委員長から、資料1「分科会の設置について」に基づいて、本分科会の設置趣旨が説明された。また、資料3「これまでに公表された対外報告及び提言」に基づいて、第16期以降の各対外報告・提言（第16～19期は各研究連絡委員会からの対外報告、第20～23期は本分科会からの提言）を振り返り、各対外報告・提言の公表以降の進展や現状について自由討論が行われた。

引き続き、今期のテーマに関する自由討論が行われ、テーマ例として以下があがった。

- ・「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」と「医療法」の二重規制
- ・放射性医薬品の開発（例：銅）
- ・放射線教育
- ・テクネシウムの国産化

今後は、今期のテーマに関してメール等で意見交換をするとともに、専門家の講演もお聞きする方向となった。講演を依頼する専門家としては、中村吉秀先生や神田玲子先生などのお名前があがった。1年間ほどは自由討論を行い、その後にテーマを決定し、最終的な提言を作成していく方向となった。

(3) その他

次回（第24期第2回）の日程は平成30年7月～秋頃を目安、次々回（第24期第3回）は平成31年2～3月を目安とすることになった。